

議会だより



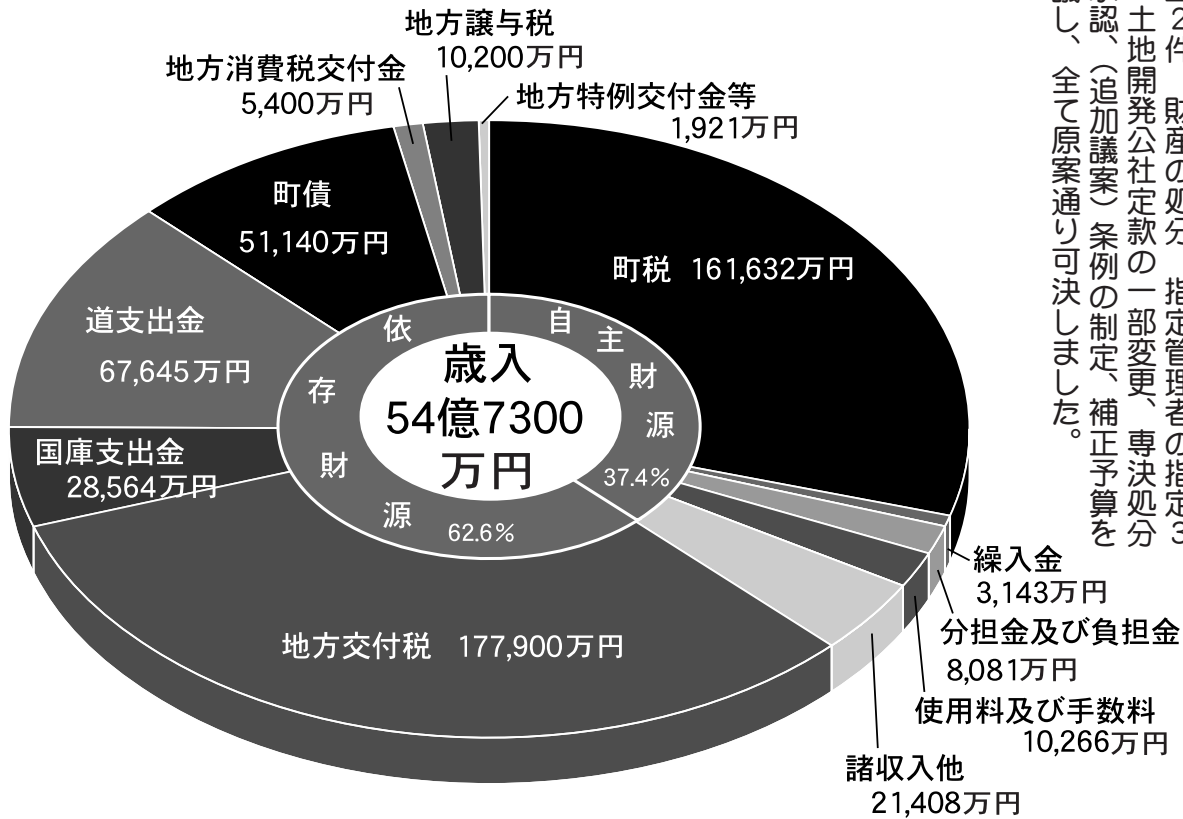
上厚真小学校卒業式 2013年3月19日

平成 25 年第 1 回定例会

平成 25 年度予算を可決	2 ~ 3
予算審査特別委員会の主な質疑	4 ~ 7
平成 24 年度補正予算の審議、意見書案の審議他	8 ~ 9
委員会による町政の調査	10 ~ 11
一般質問「ここが聞きたい」7氏が町政を問う	12 ~ 18
議会と議員の活動報告	19
元気なスポーツ少年団（少林寺拳法）・地域の話（羊毛つむぎ）	20

円を可決！！

**3 月
定例会
6 日～14日**



平成25年第1回定例会が開催され、平成24年度補正予算6件、平成25年度予算6件、条例改正2件、財産の処分、指定管理者の指定3件、土地開発公社定款の一部変更、専決処分の承認、(追加議案)条例の制定、補正予算を審議し、全て原案通り可決しました。

平成 25 年度特別会計

(全会計全員賛成で可決)

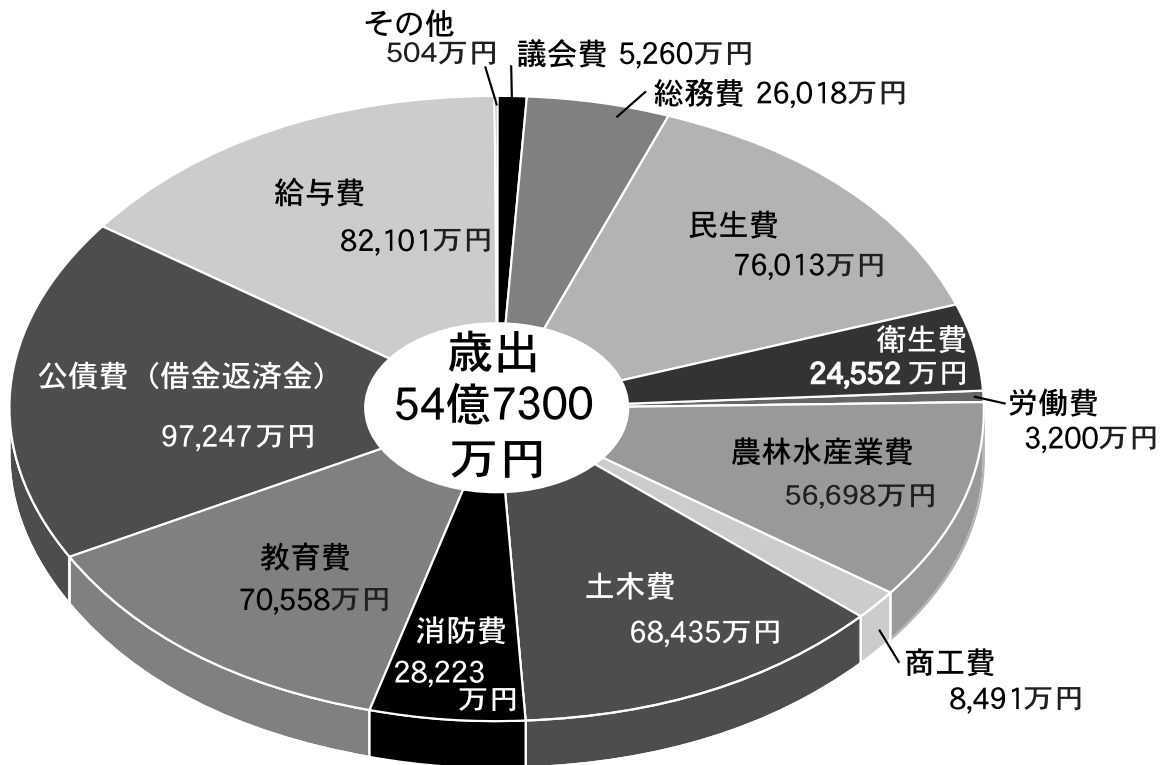
総額 22 億 9690 万円



町民投票で決定した町キャラクター

会計名	予算額	対前年比	
国民健康保険事業	6 億 5930 万円	0.5	
後期高齢者医療	7000 万円	△ 8.6	
介護保険事業	保険事業	4 億 7670 万円	3.3
	介護サービス	3150 万円	8.2
簡易水道事業	8 億 8570 万円	134.4	
公共下水道事業	1 億 7370 万円	△ 4.6	

総額 54 億 7300 万



町の貯金と借金 (平成 25 年度末見込)

平成 25 年 3 月末の人口 4777 人

※単位は万円単位なので誤差があります。

基金 (貯金) の残高		地方債 (借金) の残高	
財政調整基金	13 億 4184 万円	普通債	49 億 0727 万円
減債基金	7479 万円	災害復旧債	4554 万円
その他の特定目的基金	22 億 2693 万円	その他の町債	25 億 9075 万円
土地開発基金 (貸付金を除く)	6056 万円		
一般会計基金の計	37 億 0413 万円	一般会計町債の合計	75 億 4357 万円
町民一人あたり	77 万 5409 円	町民一人あたり	157 万 9143 円
特別会計の基金	1 億 2592 万円	特別会計の町債	28 億 4851 万円

予算審査特別委員会

平成25年度予算を集中審査するため、3月6日に議長を除く全議員で構成する、予算審査特別委員会を設置し、委員長に

予算審査特別委員会での主な質疑

早期退職制度

一 定年が65歳になりつつあるが、早期退職制度を取り入れるべきでは。

副町長 職員数は減ってきており、業務量が増えている中、超過勤務も増えている。定員適正化と集中改革プランでは職員数を削減することになっており、交付税算定にも職員数削減が重要となっている。

町長 国家公務員は65歳定年でないため再任用制で対応している。高齢者の生活を支える再任用と延長、早期退職について検討したい。

町長 定員適正化については、今年度中に国から新しい行政改革が示されるので町としても新しい方向で考えている。

付帯意見

一、行政運営については、まちづくりの長期的展望を見据えて事業を執行すべきである。

人事評価

一 現在どうなっているか。完全実施は。

二、一部事業において精査を要するものが見受けられるので、本委員会の質疑に留意の上、町民に期待される予算執行をすべきである。

総務課長 実施している。管理職は評価を期末勤勉手当に反映している。

町長 一般職は組合の同意が必要であり、実施時期は明言できないが、組合には働きかけている。

雇用創出事業

一 臨時職員を雇用するよ。うだが、正職員数が足りない。賃金が安い臨時職員を雇用するのは、臨時職員が多くなることによるひずみはないか。

副町長 職員数は減ってきており、業務量が増えている中、超過勤務も増えている。定員適正化と集中改革プランでは職員数を削減することになっており、交付税算定にも職員数削減が重要となっている。

災害資材備蓄

一 災害資材備蓄で、ガソリン等の燃料関係はどうなっているか。

総務課長 一か所につき200ℓ以下で灯油は分散して配置済みである。ガソリンは、保管できないと認識しているため、災害時にスタンドから供給してもらうことになっている。

健康診断

一 全道の中でどのような状況か。

町民福祉課主査

有所見
率で収縮期血圧が59・2%、全道8位。拡張期血圧が29・9%で18位となっている。

腎機能が7・9%で9位。クレアチニン1・3%で15位。中性脂肪が26・5%で7位。血糖値1・4%で164位。尿酸5・8%で107位。BMI 25%を超える方が37・6%で28位となっている。

循環福祉バス

一 めぐるくんの年間利用者数は。

まちづくり推進課主査 4月から12月まで

幌内線 1354人
新町美里線 148人
幌里朝日東和宇隆線 53人

豊沢軽舞線 963人
豊川共栄線 477人

在宅医療体制補助金

一 どのような補助金か。

町民福祉課主査 平成19年に地元の医療機関からの要望により創設された。末期がんなどで急性期を





町民の交通手段として定着してきた「めぐるくん」

「交通不便地域の解消につながっているか、また、今後の考えは。」
まちづくり推進課主査
 登録数も年々増加しており、利用者も20人ほど増えているので効果は出ている。
まちづくり推進課長
 平成26年度までは実証期間として運行していた、25、26年は検討期間としている。

むかわ町福祉バス 負担金

「40万円から20万円に減額になった理由は。」
まちづくり推進課主査

デマンド方式となり、一人の単価が減少した。

情報発信事業

「全体的な予算が少ないのでは。」
まちづくり推進課長

当初予算の他に、市町村振興協会へ補助金要望しているものもある。全体で500万円であるが、当事業の占める割合も多い。

定住促進

「上厚真柏区の宅地販売は誰が行うのか。」
町長

いろいろな手法があると思われるので、地権者と協議して分譲まで詰めなければならぬことはある。民間の資格を持つている方をどのよう

に取り込んでいくかも検討項目の一つである。

人口目標

「増加目標を設定して事業展開しては。」
町長

総合計画では5000人を目標としている。新たな計画策定時に新たな目標人口を設定する。

空き家再生・持ち家補助

「相対的に上限を100万円にした方が良いのでは。」
まちづくり推進課長

交付基準及び項目については、理解しやすいように検討する。

農業支援員

（地域おこし協力隊）

「就農を開始する時のバックアップ及びサポートは。」
産業経済課長

農業者育成協議会で支援したり、農家のみなさんにも協力



キャラクターの選考は町民の投票により行われた。

を得てバックアップしていきたい。資金面では、夢基金で協力する。

林業支援員

（地域おこし協力隊）

「知識のある方を募集するののか。」
三大都市圏から募集する理由は。」

産業経済課主任

都市部からの定住移住と合わせ、厚真町の林業を担っていく人材を育成していきたいという目的で行う。今回は、三大都市圏及び政令指定都市から募集するので、林業の知識はあった方が良いが、無くても受け入れを検討している。

産業経済課主査

地域おこし協力隊は、元々総務省の事業であり、三大都市圏及び政令指定都市から人材を呼び込む場合に特別交付税措置が行われる。財源措置の関係から三大都市圏及び政令指定都市から人を呼び込みたいと考えている。

新ビジネス創造事業

1月12万円に加え、住宅補助等を行うとあるが、この報酬でどのような人材を雇えると考えているか。

産業経済課主査

基本は16万5800円を通常の活動費として月々支払う。

12万円はあくまで活動助成金であり、車両借り上げや住宅手当に使用する。人材については、調理師免許を所持している方に来ていただきたいと考えている。

アライグマ駆除

今年度、捕獲はどうするののか。

産業経済課主幹

4月から6月までは町民から持ち込まれたアライグマの対応をシルバー人材センターに委託する。7月以降は、エゾシカの捕獲・処理方法の検証に合わせ方向性を固め、6月定例会に補正予算を提出する予定である。

宅配サービス等支援実証事業

宅配サービス等支援実証事業

1独居老人世帯数は把握しているか。この事業できちんと検証することができるか。

産業経済課主幹

65歳以上

上の高齢者世帯は109世帯であるが、独居老人世帯は把握していない。高齢者を対象とした見守りサービスの拡充がどのようにできるか、という点についても検討していきたい。

特産品販売

特産品のメニュー開発は開発、販売は販売で整理する必要があるのでは。

副町長

今までも厚真調理師会の方にメニュー開発の面で挑戦していた。降は、本業でないため具体化に時間がかかってしまう点がある。そのような状況から、特産品を商品開発から販売まで一貫して行える専門官が必要であると考えている。

新ビジネス創造事業

キッチンスペースについて予算計上されていないが、どのように考えているか。

副町長

どのような方が来られるかがわからないので、人が決まった段階で活動場所のマッチングを行い、6月の補正予算にて計上する。現段階では創作館の調理室が有力ではないかと考えている。

商店街活性化委員会

委員会の規模、回数は、

産業経済課主幹

とまこまい広域農協青年部、女性部、婦人団体、移住者の代表、消費者の代表、商工会役員、商店街代表者、地域住民に事務局を含め18人程度を予定している。



維持管理費がかかる天然芝のサッカー場

協議会の回数は年4回、その内1回を先進地視察と考えている。

野原公園サッカー場

1大改修の要望が出た場合の対応は。

町長

相談があった段階で考える。



幼稚園機能を求める声のある、保育園型の認定こども園つみき

こども園つみき

―西側の屋根にすららが発生して危険なため、ルーフヒーターにしては。

副町長 現地の設計を確認して必要な対策を講じたい。

―他町村は7割が幼稚園型である中で、本町が保育園型を選んだが、特色が出ていない。

町長 民間の活力を利用した方が、特色が出るのでは。

町長 大きな都市部だと特色ある保育は大切であるが、地域の期待、地域

性、それぞれの思いを、行政が責任もって教育していきたい。

公営住宅

―ペットを飼うことができなにか。

建設課主幹 全国的に入居要件でペットを飼うことができないが、現在におけるペットの重要性から今後検討する。

―自転車置き場や玄関付近など、共用部分の管理は。

建設課主幹 特別にそのための見回りは行っていない。その状況があれば、文書で注意を促したり、特に使用が悪い場合は直接指導を行っている。

浄水場取水施設

―建設予定の施設の概要は。

建設課長 一般的な揚水頭首工のイメージで取水し、横に流し、沈砂池に導くシステムである。

給水区域拡大

―高丘公民館付近までの給水区域拡張を検討できないか。

建設課長 浄水場が完成した段階で対応するよう検討する。

農地

―借りている土地で交換作付けはできるか。

農業委員会局長 無償で使用させるのであれば可能である。

放課後子ども教室

―知、徳、体の内、知だけは教えてもらわなくてはならない。

放課後子ども教室の目的に、教育や学習という言葉が抜けている。勉強を大事にするべきでは。

教育長 放課後子ども教室は活動中心であるが、宿題など様々な学習に取り組んでいる学童との一体化に向けては、この2

年間で試行しながら進めていきたいと考えている。

町スケートリンク

―真下を導水管が通ると聞いているが影響は。

副町長 平成26年以降リンクの真ん中に導水管が通る予定だが、国の事業で詳細は未定である。



大盛況だった放課後子ども教室の報告会

専決事項（承認）

（全員賛成）

内容は、除雪費の増額に伴う、除雪委託料の増額です。

補正額 1200万円

財源 町 全額

補正後の額

56億1024万円

一般会計補正予算

3月6日審議分

賛成9、反対1（海沼裕作議員）

補正額3億3537万円

補正後の額

59億4561万円

（主な内容）

町営プロードバンド事業

補正額 49万円

財源 町 全額

補正額

178万円

財源 町 全額

インターネット事業

補正額

530万円

財源 国 265万円

道 132万円

町 132万円

補正額

530万円

障がい者地域生活支援事業

補正額

55万円

財源 国 27万円

道 13万円

町 13万円

補正後の額

13万円

財源 町 全額

高齡者生活福祉センター運営事業

補正額

49万円

財源 町 全額

デイサービスセンターほんごう運営事業

補正額

57万円

財源 町 全額

戸別所得補償経営安定推進事業

補正額

248万円

財源 道 全額

道営ほ場整備事業

減額4事業、増額3事業

補正額

7242万円

財源 道 712万円

地方債 5500万円

分担金 1674万円

町 1674万円

補正後の額

△644万円

農業体質強化基盤整備事業

補正額

20万円

財源 町 全額

が生じたため、増額しました。

補正額

158万円

財源 町 全額

中学校校舎維持管理費

燃料費の高騰により不足が生じたため、増額しました。

補正額

158万円

財源 町 全額

交流促進センター運営事業（指定管理委託料）

燃料費の高騰により、契約に基づき指定管理料を増額しました。

補正額

328万円

財源 町 全額

国民健康保険事業特別会計補正予算（賛成全員）

補正額

2510万円

補正後の額

6億8353万円

財源 町 全額

後期高齡者医療特別会計補正予算（賛成全員）

補正額

164万円

補正後の額

7824万円

財源 国 1億9091万円

町 1億円

公共下水道事業特別会計補正予算（賛成全員）

補正額

△345万円

補正後の額

1億7969万円

財源 町 全額

3月14日審議分

（全員賛成）

補正額

3億8215万円

補正後の額

63億2777万円

財源 道 306万円

地方債 3110万円

分担金 613万円

町 454万円

補正後の額

700万円

事業費

700万円

財源 国 360万円

地方債 240万円

町 100万円

総事業費

2000㎡

面積

4億1540万円

財源 国 1億9091万円

町 1億円

簡易水道事業特別会計補正予算（賛成全員）

補正額

△817万円

補正後の額

3億7812万円

同施設に、構成町として補助します。

総事業費

3287万円

厚真町負担

240万円

財源 町 全額

ほ場整備事業

増額5事業

補正額

4483万円

財源 道 306万円

地方債 3110万円

分担金 613万円

町 454万円

補正後の額

700万円

事業費

700万円

財源 国 360万円

地方債 240万円

町 100万円

総事業費

2000㎡

面積

4億1540万円

財源 国 1億9091万円

町 1億円

土壌診断施設整備事業

事業概要 JAとまこま

い広域が安平町に設置す

3億7812万円



討論
反対 海沼裕作議員
繰越明許は、いろいろな事情があつて繰り越すという前提がある。それに属さないということで、これは乱用された部分だと思ひ、減額補正するのならばいいが、このままの補正では反対する。



幌里橋



黄金橋



新町フォーラム線改良工事
 補正額 3700万円
 財源 国 2220万円
 1480万円

指定管理者の指定

施設名 高齢者生活福祉センター（ともいき）
 指定管理者 社会福祉法人厚真町社会福祉協議会



施設名 高齢者グループホーム（やわらぎ）
 指定管理者 社会福祉法人厚真町社会福祉協議会



施設名 厚南デイサービスセンター
 指定管理者 社会福祉法人北海道厚真福祉会



意見書案

（全員賛成で採択）
 平成25年度地方財政対策に関する意見書
 提出者 今村昭一議員
 賛成者 了安正秋議員
 井上次男議員
 海沼裕作議員
 三國和江議員

（要約）
 国家公務員の給与減額支給措置に準じて地方公務員の給与削減を求めるために地方交付税を削減したことは、その根拠が極めて不明確な上に、厳しい財政事情から国に先駆けて、給与の独自削減や定数削減を行っていた地方の努力を踏みにじる極めて不合理な措置であり、同時に、地方交付税制度の「地方公共団体間の財源の不均衡を調整する財源調整機能」を無視した、税源が乏しく財政基盤の脆弱な団体ほどその影響を大きく受ける不平等な政策である。

特に、地方との十分な協議を経ないまま、国の施策を地方に一方的に押し付けるために、地方固有の財源である地方交付税を削減したことは、これまでの国と地方との信頼関係を大きく損なう非常に理不尽な措置で、極めて遺憾であると言わざるを得ない。

よって、国は、今回のような措置を二度と繰り返さないように強く要望する。

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣

条例の制定

厚真町新型インフルエンザ等対策本部条例（趣旨）

新型インフルエンザ等緊急事態宣言がされたときに、町長は、町行動計画で定めるところにより、直ちに、町対策本部を設置し、総合的な対策の推進を行うという内容です。

町長は、緊急事態宣言前であっても本部を設置することができません。

報告がされました

総務文教常任委員会

こども園運営状況

―就学前に具体的な指導をすることが、子どもの能力を伸ばすために必要では。

つみぎ園長 幼児の発達状況、適時性があり、そういうことを大事にした。その上で、小学校へ



の接続については、滑らかに就学できるように、学校へ訪問・観察し情報交換する。私立幼稚園では特色を出し、文字指導を実施し早い段階から文字を学ぶ。就学前に既にならっているの、学校の授業で意欲がわかない場合もある。小学校にはカリキュラムがあるが幼稚園にはない。学力の向

上は、子どもの成長とともに、5領域の中で保育士が心がけることが必要と思っている。

―具合が悪い園児が出た場合、保護者に迎えをお願いするが、急には来られない場合の対応として、看護師や保健師を配置できないか。

町民福祉課長 子どもの体調不良時は、保護者へ連絡し、速やかに降園いただき病院で受診していただくようにしている。保健師の配置は、勤務体系上現在配置はできない。

―保育士の増員が必要では。

副町長 毎年適正配置に努めている。

宮の森保育園運営事業

―こども園化した場合の人員配置、開設時期、場所。

副町長 開設時期、場所等については25年度中に

基本的な考えを示したい。職員の配置については、保育士資格が必要であり、正職員、臨時職員のバランスを見守っていく。

―児童館的施設の建設についての状況は。

副町長 上厚真市街地計画を含め、25年度中に基本的な考えを示したい。



学童保育事業

―障がいを持つ子どもの学童保育利用は。

町民福祉課長 障がいを

許可しないことはない。

―学童保育でも子ども達の健康に配慮する必要があるのでは。ただ目視するだけの「見る」ではなく、子ども達の安全を守るための「見る」という意識が必要では。

副町長 健康に関して学童のメニューとしては、なかどうかについては、新しいテーマを提案されたということの研究してみ



委員会による調査の

(平成 25 年第 1 回定例会の各委員会による所管事務調査)

産業建設常任委員会

たんとうまいステーションの設備更新

— 今の状況になるまで更新に取り組まなかった理由は。

産業建設課長 J A に一任しているためである。

— 今後の更新について、どのように取り組み、いつ頃を予定しているか。

副町長 生産者の理解が得られる範囲で当然応分の負担をしていただくということで、J A と協議をしながら対応していきたいと思っている。

農業用低温倉庫

— 事業費の財源内訳、その他で町の負担をどの程度見積もっているか。

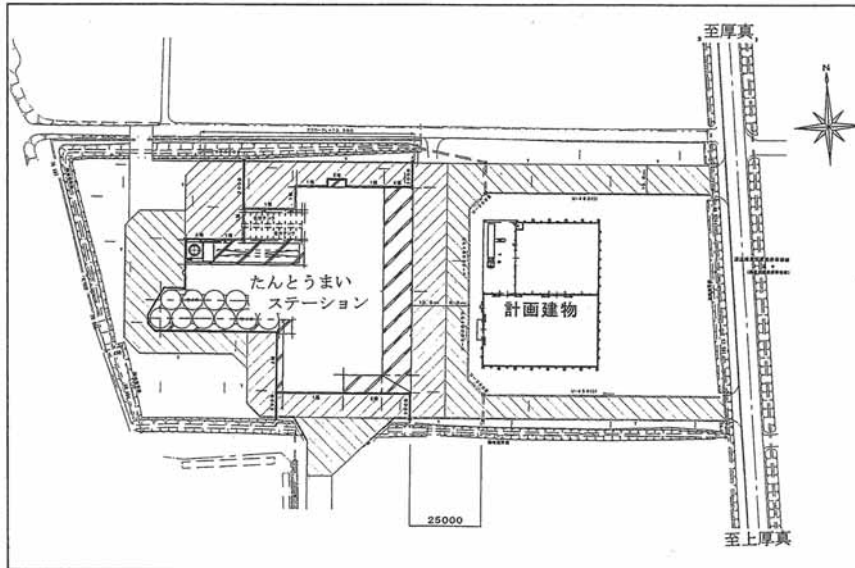
副町長 現段階では申し上げる時期ではなく、国の方で事業が採択される

のが 2 月下旬から 3 月上旬の予定であることから、補正予算として、3 月の定例会に計上させていただく。

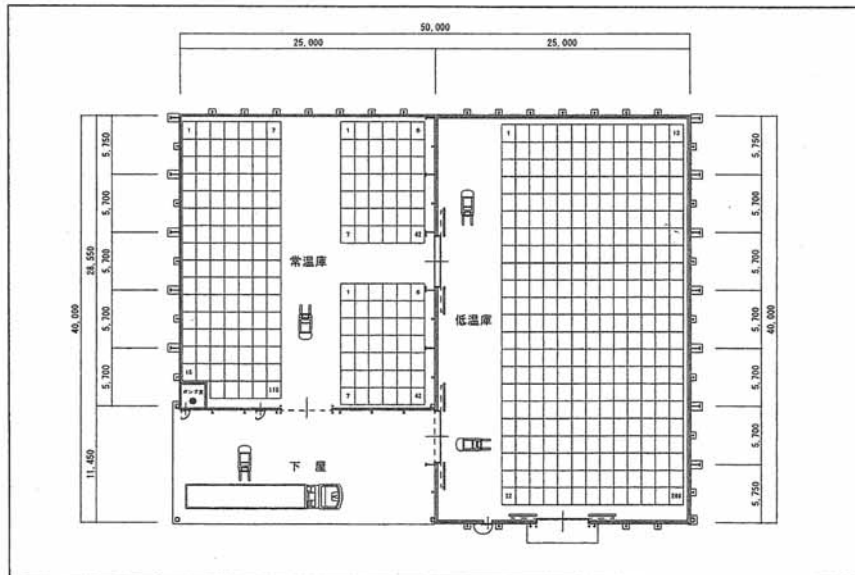
— 大豆の保存期間は 2 年ぐらいということである

が、将来的に 3 年、4 年と長くなる可能性は。
J A 部長 制度の仕組みからそれ以上にはならないので、1 年半から 2 年が最長だと思う。

低温貯蔵・常温集出荷貯蔵施設 配置図



低温貯蔵・常温集出荷貯蔵施設 平面図



減額分の対応は

答 単独で基準の補正はない

一般質問

ここが聞きたい？



木戸嘉則 議員

問 政府は、生活保護費のうち食費や光熱費に当たる生活扶助費を13年〜15年度の3年間で総額7・3%減額する方針であるが、減額分を町としてどのように考えているか。

町長 町村には福祉事務所の設置義務が無いことから、本町においては胆振総合振興局が生活保護の業務を行っている。

生活保護費に対する費用は、国と道で負担しており、本町の負担はない。8月から減額を実施するとされているが、具体的な減額基準等が示されていないので、動向を注視している。

町単独で生活保護基準の補正をすることはない。

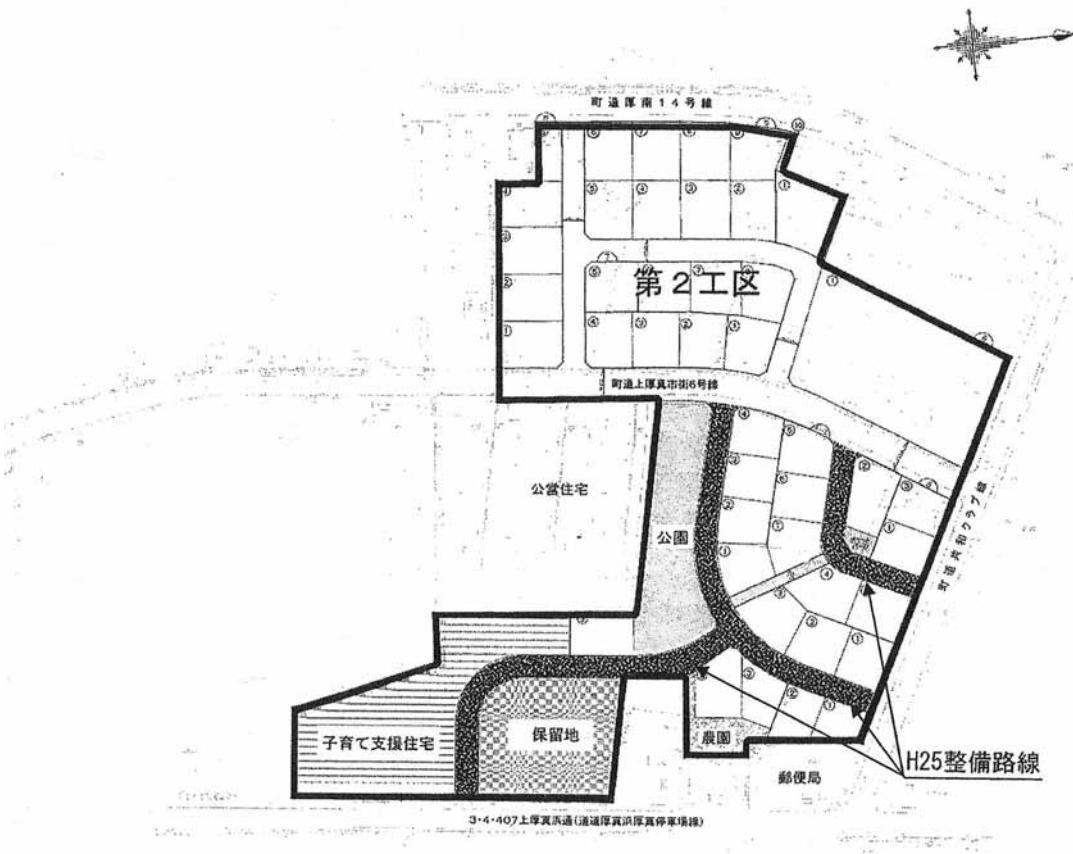
窓口体制
問 生活保護の窓口体制は十分か。

町長 生活保護申請があった場合に、内容を確認し、申請書を胆振総合振興局へ進達したり、生活保護費の支給事務や医療機関を受診される場合に必要医療券を発行する業務などであり、具体的な業務は胆振総合振興局で行っているため、本町の窓口体制は十分である。

ピックアップ平成25年度予算

上厚真市街宅地整備事業（新規）

上厚真柏地区で土地区画整理事業による宅地造成工事を行う。予算額 8687 万円



一般質問

ここが聞きたい？



木本清登 議員

職員給与

職員給与削減の考えは

答 組合の理解を得て対応

問 厚真町において役場職員の給与引き下げは経済が疲弊した地場商店街に大変深刻な影響だ。地方の零細企業、諸団体の給与体制は公務員を参考で、経済対策が従業員の給与引上げに結ぶか疑問視だ。町のラスパイレス指数及び平均給与額を公開し、町民サービスの低下につながるのであれば、旧議員年金、現議員の報酬など協力要請をして、真摯に見直しを検討すべきでは。

化を図るため、国と地方が一丸となつて行財政改革に取組む姿勢を示す。本町24年度のラスパイレス指数は104.6で、国が給与削減しなかった場合の参考値は96.6である。日本再生、地域経済の活性化に対応するため職員組合の理解を得て給与削減と言う手法で対応したい。

ラスパイレス指数（国家公務員の俸給月額を100とした場合の地方公務員）
一般行政職の給与水準

年度	H 16	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24
指数	94.8	94.9	95.6	96.1	96.0	95.2	95.5	96.8	104.6 (96.6)

国の要請に伴う削減額（案）

	項目	削減率
一般職（役場・消防）	給料	4.60%
	期末勤勉手当	9.77%
	管理職手当	10%
特別職報酬	町長	現行8%→10%
	副町長	現行6%→10%
	教育長	現行5%→10%

教育行政

教育現場の体罰対策は

答 指導力向上に努める

問 スポーツ教育において体罰という事は厳禁で、本人の向上心とそれを支える高度な理論的指導と厳しくも暖かい両者の信頼関係が大切である。喫煙、弱者虐待、器物損壊、法律的処置以前にその場で、いたみを感じさせて正さなくては出来ない指導もあると思う。学校教諭が体罰という言葉に萎縮して見て見ぬ振りする事が無いように、どのような方向性を指すか。

教育長 教育上の懲戒、放課後教室に残留、教室内の起立、

たち歩きの子を叱つて席につかせる、などは体罰とされてはいない。喫煙、弱者虐待、器物損壊などは教育上の懲戒行為ができる。

体罰による指導では深い心の傷を残し信頼感を損ない、正常な倫理観を養うことはできない。

日頃から計画的に事例研究や教育相談の研修を通じ指導力の向上に努める。

研修農場構想の支援を明確に

答 夢基金を活用し支援する

問 23年度から始まった研修農場構想は、24年度から集落アドバイザーを2名にし、25年度は法人専門員を配置し、本格的な生産法人の設立に向かうとしているが、農業の高齢化、担い手不足、地域農業、一次産業を守るため重要な政策と思うが、設立に対しての初期の設備投資軽減のため、担い手夢基金を活用した支援策を明確にできないか。

町長 効率的な生産体制実現に向けJA農場と連携し、研修機能を付加した生産法人の設立と直接指導をいたたく農業者のリーダー的な方々の組織化の二通りに向け、25年度は道の職員を派遣して

いただき、集落アドバイザーと連携し法人化できる集落に働きかけたい。具体的な活動、行動ができたパイロット的法人には夢基金も活用し、かなりの支援をしていきたい。

一般質問

ここが聞きたい？



大捕孝吉 議員



ビックアップ平成25年度予算
新町公園整備事業
 バーベキューコーナーの新設
 コンビネーション遊具の設置
 予算額3060万円（石油交付金事業）

一般質問

ここが
聞きたい？



井上次男 議員

簡易水道

新規浄水場の財政負担は

答 負担にたえられる

問 榎山地区に計画されている、新規浄水場は推進されるのか、総事業費が40億円に近い大規模なこの事業は到底、町民の負担となる町民税だけでは完成できない。
将来において安定した水道水の供給を確保するためにも必要欠くべからずの事業をどのように進めるのか。

町長 厚幌ダム供用開始に合わせて、水道水の供給を開始する。
地方債28億円の償還と地方交付税算入との関係を考えて、町として負担に耐えられなくなることはない。



浄水場の建設が予定されている榎山地区

観光振興

遺跡を復元し観光資源化

答 可能であるが地域と協議検討

問 厚幌ダム周辺の環境整備に併せ、遺跡の発掘で「ヲチャラセナイ遺跡」等において、多くの貴重な発見があった。500年前からの厚真での人々の暮らしや他の地域との繋がりが分かっていた。

道央圏域でも珍しい最古級の長軸10m以上の大型竪穴式住居跡も発見されている。今まで発掘されたものと合わせて展示・復元し観光資源化ができないか。

町長 遺跡の復元は可能であるが、ダム周辺整備計画と町づくり構想との整合性を考え、地域自治会と協議して遺跡の対応について検討を進めたい。

(その他の質問)

「中高一貫教育について」

少子化による生徒の入学者が減少、適正配置計画による高校閉校が危惧される。先を見据え中高一貫教育を検討すべきではないか。

施設の設置時期は

答 できる限り解消したい

町長 障がい者の自立支援施設設置に向けて、商店街の空き店舗への施策進捗状況は重要な課題と考えている。

就学前、就学期については、本町でも可能な限り支援をしている状況で

問 障がい者自立支援施設の設置についていつ頃から従事できる場として考えているか。

町長の施政方針の中で「障がい者自立支援施設の設置について検討する。」とあるが、検討では無く前向きな姿勢でこの事業を進めるべきでは。

現在、町の中には空き家があり、そこを利用して障がい者自立支援の場として活用しては。

あるが、義務教育を終了した後、社会に出る障がい者の方々の受け皿として本町の場合持ちえていない。この状況はできる限り社会活動ができる場を用意して解消したいと考えている。

一般質問

ここが聞きたい？

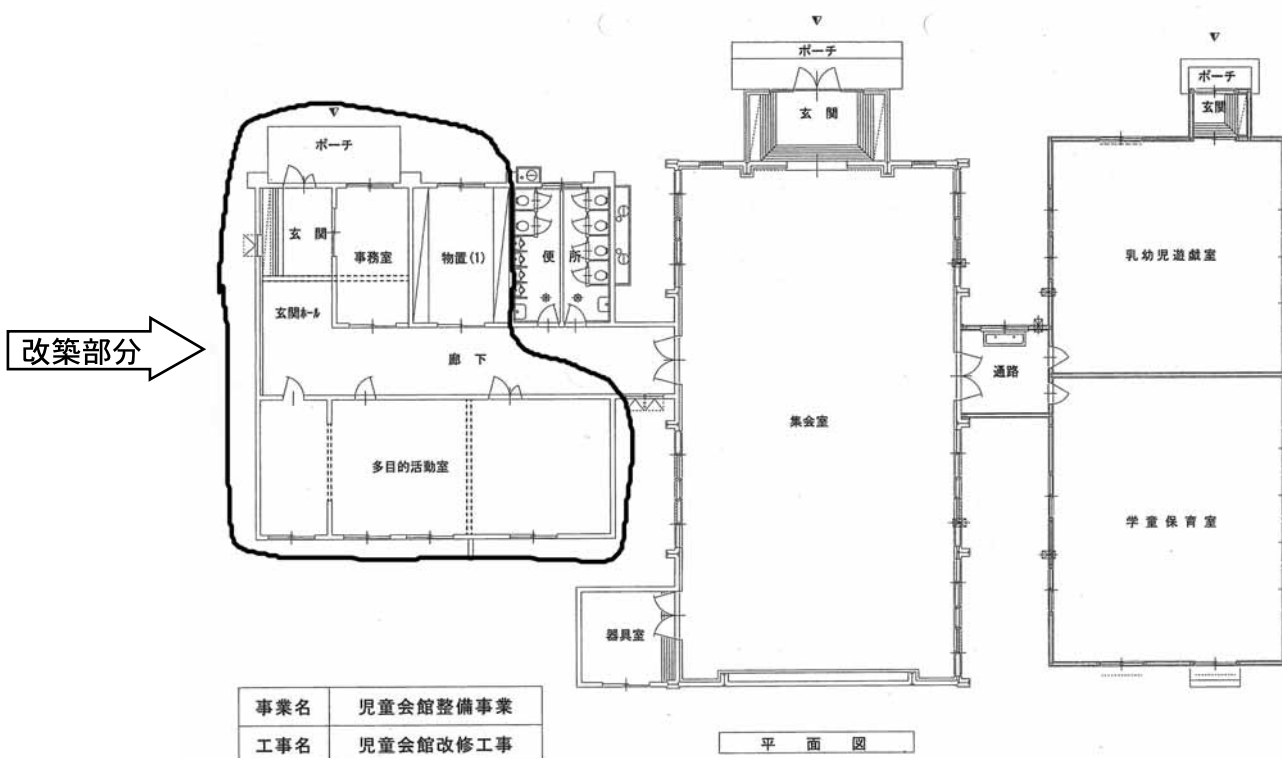


三國和江 議員

ピックアップ平成25年度予算

児童会館整備事業

児童会館の改築を行い、学童保育と放課後子ども教室の連携を図る。 事業費 720 万円



一般質問

ここが
聞きたい？



下司義之 議員

高齢者福祉

市民後見人の育成を

答 喫緊の課題ではない

問 認知症高齢者や一人暮らし高齢者の増加に伴い、成年後見制度の必要性が一層高まっており、今後後見人が高齢者の介護サービスの利用契約等の業務を行うことが多く想定される。

認知症の人の福祉を推進する観点からも、弁護士などの専門職以外の市民を含めた後見人を確保できる体制を整備・強化し、地域で市民後見人の活動を推進する事業に取り組むべきでは。

町長 日本全体で認知症の患者がやがて400万になるといふ専門家の意見があり、患者の財産管理、権利を守るという意味では成年後見人の需要が高まると思う。

当町では市民後見人に近いもので、町社協で行っている日常生活自立支援事業があるが、現実には利用者が居ない状況である。

そういう意味では、今後の課題として捉えているが、喫緊の課題ではないと考える。



厚真町の本と言えば、厚真村史と厚真町史に代表される記録史的なものも多く、読み物としてもおもしろいが。

町の本？

厚真町の本を作製しては

答 面白いので研究する

問 役場内の先進的な取り組みを後世に残す、職員の研修に活用するためにも、そういった取り組みを「厚真町の本」として記録を残してはどうか。

まちづくりの分野では、町長や他の執筆者によって本を発刊されている事例があるが、町として作製している事例は少ない。町勢要覧などのようなものではなく、本として取り組んでみては。

町長 質問の内容は興味深く聞かしていただいた。一般的に考えると面白い取り組みだと思ふ。それぞれの町で一生懸命取り組んでいるもの、形になったり成果が表れたものが先進例になって、視察の対象になったり出版されるものもある。もっともつとミクロなレベルで各町のまちづくりをとらえると、興味深い資料になる。

面白い提案なので編さんできるか研究する。

その他の質問 職員の給与削減
問 国からの要請による給与削減の影響額は。
町長 総額で3500万円の減となる。

過疎法適用

過疎法適用への行動計画は

答 引き続き積極的な要請活動を展開する

問 過疎法は、昭和45年議員立法により初制定され、現行法まで過去3回指定要件などの見直しを行い新法に衣替えした。この見直しにより、道内でも新たに1市、2町が追加認定された。財政状況・人口の減少を考慮し、自主・自立を選択した本町が、今後のインフラ整備などの財政投資に対する高率な支援を受けるための、過疎法指定地域となる取組と行動計画は。

町長 現行法では、人口・財政力要件を組み合わせて判断される。本町の基準年の人口要件は、人口減少率47・7%、若年者比率12・8%で該当し

ているが、財政力要件は0・68で該当しなかった。近年は0・51と基準を大きく下回り、今後も財政力指数の低下は続くと推測される。25年に全国33町村（道内9町村）で組織する連絡会議に参画し、総務省等に積極的な要請活動を展開する。

用語説明

※過疎地域自立促進特別措置法（過疎法）

過疎地域の産業基盤や生活環境の整備を進め、地域の自立を目指す法律。過疎地域に指定されると、公共施設の整備費の7割を地方交付税で賄う過疎対策事業債の発行や、国の補助率のかさ上げなどの措置が認められる。

一般質問

ここが聞きたい？



吉岡茂樹 議員

厚高存続

厚高の存続に対する支援策は

答 6月頃をめどにまとめる

問 今年、厚高の志願者が昨年と比べ0・2ポイント減の22名である。このままでは道教委の指針にある通り、1年生の在籍生徒数が20人未満となり、その後も生徒数増が見込めなければ再編の対象となる。

近隣でも地元高校存続のため、厳しい財政の中、支援を行っている。

入学や海外研修及び大進学奨励金、給食の提供など魅力ある支援策を検討する必要があるのでは。

教育長 ご質問の通り、現在でも町内の中学卒業生の多くが地元高校へ進学し、町民とその子どもたちにとって重要な地元

高校であり、地域に欠く事のない教育機関である。

高校の維持・管理や生徒・教職員の生活は町の産業と経済に活力を与え、町のイベントや福祉活動、生涯学習など町づくりにも大きな役割を果たしているなど、無くてはならない学校となっている。

町長 厚高振興会に平成13年から入学者の確保や様々な支援をしてきた。喫緊の課題である入学者確保に向け、東部3町も独自の対策を行っているが、本町でも26年度以降の入学者確保に向け、地域に根ざした特色ある教育活動を更に高めるた

め、即効性・継続性・効果性のあるものを見据え、関係機関と協議を重ね、生徒募集が始まる6月頃までには支援策をまとめたい。



存続が危ぶまれる北海道厚真高等学校

議会及び議員の活動報告

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日		
木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	曜		
							産業建設常任委員会		老人クラブ連合会新年交流会	議会広報特別委員会		元議員親睦会新年懇談会	総務文教常任委員会			安平・厚真行政事務組合例月出納検査	交通安全合同新年交流会	成人式		交通安全祈願祭	議会広報特別委員会		あつま新年交礼会		消防出初式・祝賀会							1	月

28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日			
木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	曜			
議会広報特別委員会	安平・厚真行政事務組合全員協議会					町婦人大会・ぐるつとあつまめぐり (新作弁当) 試食会						神戸典臣氏道議会議員在職25年表彰受賞祝賀会	安平・厚真行政事務組合例月出納検査				東京厚真会総会					胆振東部市町議会懇談会		ランタン祭り スターフェスタ2013 in あつま						2	月

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日	
日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	曜	
			議会広報特別委員会	都市計画審議会	田舎まつり運営実行委員会総会			元町議会議員 菅原治一氏旭日単光章受章祝賀会	胆振東部消防組合定例会	安平・厚真行政事務組合定例会	町例月出納検査	上厚真小学校・中央小学校卒業証書授与式	町農業再生協議会通常総会・町農業振興協議会	胆振東部日高西部衛生組合定例会	町和牛生産改良組合40周年記念会		厚南中学校・厚真中学校卒業証書授与式	第1回定例会・議員協議会	予算審査特別委員会	予算審査特別委員会	予算審査特別委員会・予算審査委員会協議会		第1回定例会	第1回定例会	第1回定例会・全員協議会	土地開発公社理事会				グループホームえがおの家完成祝賀会	3	月

厚真少林寺



指導者

甲斐哲夫さん (8段)

今は普段の生活の中で、人とのつながりが稀薄になっていっていると言われています。厚真少林寺拳法は、人と人とのつながる場所にしていきたいと活動しています。

様々な年齢、職業、経歴、興味を持った人が集まり、お互いに言葉进行交流。そこから学ぶものもあり、生まれるものも大きいと思っています。現在は団員5人(小学1年から6年生)の子どもたちが、昇級、昇段、大会とそれぞれの目標を立てて頑張っています。練習は、毎週金曜日午後6時30分から午後8時まで。ぜひ仲間になりませんか、待っています。

地域の話題⑧ 羊毛手つむぎ手編み

地域の話題⑧



羊毛でできたヌイグルミ

のインストラクターなどでも活躍しています。

これからも、羊毛の良さを伝えるため、糸紡ぎの会を作りたいという家倉さん、4月からは町内錦町でフリースペース羊工房・家庭文庫をはじめます。

気軽に立ち寄りください。



家倉 真弓さん

「マス式くつした、はいたら脱げないんですよ。」と、スピナーの家倉真弓さん。マス式のマスは、編み

方を教えてくださったおばあちゃん飛谷マスさんの名前。以前に住んでいた町では開拓の頃から各農家で羊毛つむぎが生活の中にあつて、家倉さんも自然に紬方を覚えたそうです。厚真に移住してからもスピナー仲間ができて羊毛つむぎを続けていて、最近では町の体験イベント

